

### Ⅲ 栃木県総合教育センターの取り組み

#### 5. 「情報ボランティア」の自主活動に対する支援

総合教育センター生涯学習部では、「情報ボランティア養成研修」をはじめとする修了証を授与している研修について、修了者の地域での活躍を期待して、県内各教育時事務所、各市町村教育委員会に対し、修了者名簿を送付し地域での人材として紹介している。

また、受講者に対しては、研修修了時に生涯学習ボランティアセンターへの登録を勧め、登録された団体及び個人に対し、活動の場の提供（ボランティアコーディネート）を行っている。

その他、ボランティアセンターに登録されなかった個人の方も含めて、研修終了者からの活動上の悩みなどに対してボランティア相談（学習相談）に応じるなど、研修の受講だけに終わらず、その後の地域活動に結びつくように支援をしている。

##### (1) 「IT講習会」実施機関における「情報ボランティア」の受け入れ支援

「IT講習会」で整備をしたパソコンが、県内の全市町村、県の「IT講習会」実施機関において各20台以上あるが、それらを活用した講座が企画実施されている。また、生涯学習の成果の活用という観点と、なかなか民間企業等の講師を招く予算措置も難しいという財政面での悩みが一致し、情報ボランティアに期待されるところが大きい。

平成15年度からは、総合教育センターの生涯学習部主催の「視聴覚教育メディア研修

」や「養護教諭部会主催のパソコン講座」などにおいて、受講者30名に対し5人程度、情報ボランティア修了者をパソコン講座のサポートをしていただき、受講者から分かり易いと好評を博している。

主なコーディネート先としては、総合教育センター、青年の家、少年自然の家、図書館、公民館などで開催されるパソコン講座の講師及びサポートボランティアがあげられる。

「養護教諭部会のパソコン研修におけるサポートボランティア」



##### (2) 情報ボランティアとしてのスキルアップ支援

「情報ボランティア養成研修」を実施している生涯学習部では、その他前掲の「視聴覚教育メディア研修」のようにパソコンについてのスキルアップをめざす指導者養成研修も実施している。平成15年度は、ワープロソフト、プレゼンテーションソフト、ホームページ作成ソフトの操作方法についてのパソコン研修をそれぞれ2回ずつ実施した。

その折りには、「情報ボランティア」の中の希望者だが、1回目はパソコン講座の受講者となりスキルアップをする。同じ内容の2回目の講座では、その受講した「情報ボランティア」の人がサポートボランティアとして活躍した。

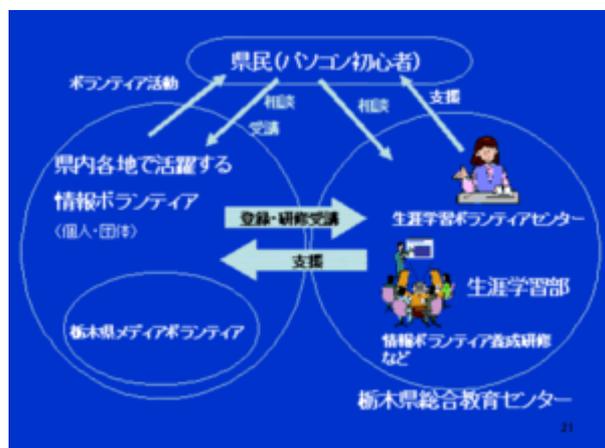
また、サポートボランティアだけではなく、「女性教育指導者研修」においては、インターネットからの情報収集につての

「女性教育指導者研修におけるインターネット講座の風景」



演習を、テキストの作成からメイン講師まで「情報ボランティア」に依頼した。

## 「総合教育センターの取り組み」についての構成図



総合教育センターの生涯学習部と生涯学習ボランティアセンターでは、連携して「情報ボランティア」の養成・研修終了者のボランティアセンターへの登録・ボランティアセンター登録者への活動の場のコーディネート・ボランティアに関する相談など一貫した支援体制をとっている。

総合教育センターでは、ボランティアの養成機関とボランティアセンターが同じ部署で管轄しているために、お互いが一歩ずつ歩み寄る連携が可能となっている。